

はじめに

偏った食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒、さまざまなストレスなど、好ましくない生活習慣や環境が積み重なるにつれて生活習慣病のリスクが高まることは、周知されています。高血圧症や脂質異常症、糖尿病をはじめとする生活習慣病は、ほとんど自覚症状がないため、脳や心臓、血管などへのダメージを知らず知らずのうちに積み上げ、ある日突然、狭心症や心筋梗塞、脳卒中など、命にかかわる疾患を引き起こすおそれがあります。そして、生活習慣病は、日本人の2/3の死因にかかわっているともいわれています。

歯科では、糖尿病の第6合併症として歯周病が加えられたことが、近年のトピックの一つとなっています。その他にも、歯周病と虚血性心疾患・脳梗塞・肥満など、おもに歯周病と生活習慣病の関連性を示唆する報告が国内外で見られます。したがって、外来患者さんを診察している歯科医師においても、生活習慣病に関する知識をきちんと整理し、最新の知見を把握しておくことは、たいへん重要なことだと思います。

そこで今回、生活習慣病の疾患概念に触れたうえで、生活習慣病患者さんへの歯科治療時の注意点、ならびに歯科外来での検査データの意義・読み方、標準的対応などをポイントごとに簡潔にまとめた本書を刊行しました。本書は歯科医の知識の向上、ひいては患者さんの健康に寄与できる一冊になると思っています。しかし、記載の過不足もあると思われるので、読者の皆様の忌憚らないご意見をお願いいたします。

都庁舎を眺めつつ
富野康日己